

自己改革工程表

〔 令和 4 年度 から
令和 6 年度 まで 〕



新たな「令和」の時代がスタートした年に誕生したJA山口県においては、合併効果の発揮による「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」を基本目標とする創造的自己改革の実践に全力で取り組んでまいりました。

これまでに自己改革として、JA山口県独自の農業振興対策事業（生産拡大支援制度）の実施、トータル生産資材コストの低減等の取り組みをすすめてきました。

合併以降、地区別総代協議会、支所運営委員会、利用者懇談会、集落座談会等での組合員・利用者との対話を重ねることで、取り組みに対する一定の評価をいただいている一方、合併効果を期待する多くの声をいただいています。

また、規制改革会議による准組合員の利用規制に関する様々な問題提起が行われたことから、第1回通常総代会（令和元年12月開催）において、准組合員の位置づけを明確にするため、『准組合員と連携した農業振興ならびに地域活性化に関する特別宣言』を採択し、取り組みをすすめてまいりました。

今後もJAが強みとすべき「親しみやすさ」と「信頼感」で人と人をつなぎ、総合事業を基本としたJAの事業・活動において、組合員・利用者との対話を通じ、「不断の自己改革」に取り組んでまいります。

准組合員と連携した農業振興ならびに地域活性化に関する特別宣言

1. JA山口県は、准組合員を「県産農畜産物の消費」、「JA事業の利用」、「生産活動への参画」等を通じて、正組合員と連携して地域の農業を支える「農業振興の応援団」として位置づける。
2. JA山口県は、准組合員が「支所運営委員会」や「利用者懇談会」等へ参画し、積極的に意思反映を行い、正組合員とともに地域活性化に向けた取り組みを実践する「アクティブ・メンバーシップ[※]」の構築を目指す。
3. JA山口県は、正組合員ならびに准組合員の事業利用や活動参画の状況に関する情報を開示することにより、JA運営に関する幅広い理解の醸成に努める。

※ アクティブ・メンバーシップとは、組合員が積極的に組合の事業や活動に参画すること。JAにおいては、組合員が地域農業と協同組合の理念を理解し、「わがJA意識」を持ち、積極的な事業利用と協同活動に参画すること。

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」の取り組み

- ① 「生産拡大支援制度」による支援
生産拡大支援制度を活用し、県域における重点振興品目、振興品目の面積拡大及び畜産の増頭に取り組みます。
- ② スケールメリットを発揮したトータル生産資材コストの低減
栽培暦の統一による肥料・農薬の品目集約、予約結集によるスケールメリットの拡大により、生産資材価格の引き下げに取り組みます。

『経営改革実践プラン』の取り組み

近年、新型コロナウイルス感染症の影響、マイナス金利の長期化などの厳しい情勢の継続が想定されるなか、現状のまま改革を行わなかった場合の5年後の成り行きシミュレーションを行ったところ、令和4年度には、JA山口県誕生以降初めて事業利益が赤字に転じる見通しとなりました。

こうした想定を超える経営環境の変化に対応し、経営改革を着実に実践するため、令和2年10月に常勤役員による経営戦略会議及び戦略推進室を新設するとともに、赤字シミュレーションの大きな要因である営農経済事業改革のため、農林中央金庫ならびに全農が合同で財務分析に基づく課題の洗い出しやソリューションの提案等を行うJA支援プログラムを活用し、JA山口県の全体戦略、事業戦略等をまとめた「経営改革実践プラン（令和3年度～令和5年度）」を策定しました。

「経営改革実践プラン」の着実な実践により、持続可能な健全経営を確保することが喫緊の課題となっています。

准組合員と連携した農業振興ならびに地域活性化に関する取り組み

『准組合員と連携した農業振興ならびに地域活性化に関する特別宣言』のなかで、准組合員の位置づけを整理し、その具体策を明確にした取り組みを着実に実践することにより、将来に向けて力強く存続する組織基盤や経営基盤の確立に努めてきました。

引き続き、准組合員の皆さまに地域農業を支える『農業振興の応援団』になっていただくため、県産農畜産物の消費、JA事業利用・活動参加、生産活動への参画などの提案をすすめていきます。

また、正組合員との対話のみならず、准組合員の意思反映の場として「支所運営委員会」や「利用者懇談会」への参画を提案し、正組合員とともに地域活性化に向けた取り組みを実践する「アクティブ・メンバーシップ」の構築を目指すとともに、准組合員の事業利用や活動参画の状況に関する情報を開示することにより、正・准組合員の利用状況を把握し、自己改革の実践につながるよう取り組みます。

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」の取り組み

● 「生産拡大支援制度」による支援

		令和3年度	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標
重点畜産	支援件数(件)	23	50	50	50
	支援額(千円)	3,737	15,400	15,400	15,400
	面積拡大(ha)	5.3	18	18	18
振興品目	支援件数(件)	22	60	60	60
	支援額(千円)	2,037	12,000	12,000	12,000
	面積拡大(ha)	2.8	12	12	12
畜産	支援件数(件)	19	40	40	40
	支援額(千円)	2,580	3,600	3,600	3,600
	増頭(頭)	86	120	120	120

● スケールメリットを発揮したトータル生産資材コストの低減

		令和3年度	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標
肥料	品目集約目標※(品目数)	72	70	68	65
	予約供給高(百万円)	1,664	1,650	1,700	1,750
	予約率(%)	74	75	75	75
	満車直送(袋)	80,270	63,000	64,000	65,000
	重点品目割引(百万円)	10	10	10	10
農薬	品目集約目標※(品目数)	175	170	160	150
	予約供給高(百万円)	1,500	1,500	1,550	1,600
	予約率(%)	70	68	70	75
	大型規格商品の普及面積(ha)	5,694	5,800	5,900	6,000

※品目集約目標とは、肥料又は農薬の供給高の8割を構成する品目数です。

『経営改革実践プラン』の取り組み

● 金融店舗の機能再編

	令和3年度	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標
基幹店(店舗)	—	—	23	23
一般店(店舗)	—	—	39	39
衛星店(店舗)	—	—	41	41

● 購買店舗の再編(機能縮小を含む)

	令和3年度	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標
店舗数(店舗)	12	17	20	20

● 県域物流導入

	令和3年度	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標
統括本部数	7	9	11	11

准組合員と連携した農業振興ならびに地域活性化に関する取り組み

● 農業を始めるきっかけづくり

	令和3年度	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標
営農塾(回)	133	98	98	98

● 県産農畜産物の消費拡大に向けたファーマーズマーケットの魅力ある店舗づくり

	令和3年度	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標
売上高(百万円)	3,979	4,456	4,762	4,833
来店客数(千人)	3,342	3,666	3,902	3,975

● 「食」「農」への関心を持つための場づくり

	令和3年度	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標
食農教育(回)	50	300	300	300
地域の農業の魅力を伝える活動(回)	—	60	60	60

● 意思反映に向けた場づくり

	令和3年度	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標
支所運営委員会(回)	46	208	202	202
利用者懇談会(回)	2	22	30	42

統括本部 取り組み方針及び自己改革独自項目

第2次中期経営3カ年事業計画の各統括本部における「取り組み方針」及び「自己改革独自項目」については、以下の通りです。

周防大島統括本部

方針

かんきつの主要生産地として、質の高い営農指導を実践し、信頼される産地を目指すとともに、光センサー選果体制による販売力強化を図り、高品質果実の計画的安定供給による有利販売を目指します。選果機については更新に向けた準備を行い、生産者の利便性向上、労力軽減を図り生産者の所得向上と安定経営につなげます。
また、ファーマーズマーケットについては、近隣統括本部と連携した運営を行うことで取扱高の増大を図り、利用者の拡大と地域の農業生産拡大につなげます。

① 柑橘主要生産地としての出荷量の維持

➤ 柑橘出荷量

出荷数量	令和3年度 (現状)	令和4年度 目標	令和5年度 目標	令和6年度 目標
出荷数量(トン)	5,200	4,130	4,930	4,170

② ファーマーズマーケットの強化

➤ ファーマーズマーケット供給高

供給金額	令和2年度末 (現状)	令和4年度 目標	令和5年度 目標	令和6年度 目標
年間供給高(万円)	3,393	3,898	4,145	4,391

岩 国 統 括 本 部

方 針

岩国統括本部の収支改善を図り、安定した経営の実現に向けて令和4年度から経営改革ならびに拠点整備に取り組みます。

営農センターおよび経済店舗を再編し、業務の一元管理による効率化を図るとともに、多様化する農業者のニーズに対応できる営農指導体制を構築します。

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に向けた自己改革の取り組みとして、「岩国れんこん」の集出荷施設を設置し集出荷量増大を目指します。

また、老朽化した支所建物の耐震面の不安もあり、建替えも視野に入れた支所機能の見直しおよび効率的な支所の再配置による支所機能再編に取り組みます。

営農センター、経済店舗および支所機能再編を健全経営の確保に向けた大きなチャンスと捉え、組合員をはじめ地域利用者に質の高いサービスの提供と満足度向上を目指して経営改革に取り組んでまいります。

① 「岩国れんこん」集出荷量増大に向けて集出荷施設の設置

○生産者の負担軽減

現在の出荷者に加えて当組合への未出荷者が常時コンテナ出荷できる体制を構築

○農家所得向上への取り組み(販路の拡大)

「岩国れんこん」の評価が高い京阪神市場への出荷および山口大学等との連携による加工商品の開発・販売

○農家との繋がり強化

専任指導員を配置し新規出荷者の推進および生産資材等の取引拡大

	令和3年度 (現状)	令和4年度 目標	令和5年度 目標	令和6年度 目標
「岩国れんこん」集出荷施設の設置(トン)	0	100	200	300

② 地域住民を対象とした健康増進活動、食農教育活動および文化支援活動の実施

○各種スポーツ大会への共催および協賛

○食育・健康・相続等をテーマとしたセミナーの開催

○小学生を対象とした「岩国れんこん」の植え付け・掘り取り体験、バケツ稲作りの実施

	令和3年度 (現状)	令和4年度 目標	令和5年度 目標	令和6年度 目標
健康増進、食農教育および文化支援活動の実施(回)	8	10	12	15

南すおう統括本部

方針

地域農業を支える多様な担い手農家の皆さんが、継続的に農業に取り組んでいただける取組みとして、統括東部エリア間の直売所による連携強化をはかります。販売面でのチャンネルを増やすことで、地元農産物の広域での販売が可能となり、農家の生産拡大と農家所得の増大に繋がるよう、努めて参ります。併せて、地元ファーマーズマーケット「遊気百菜館」・「ふれあいどころ437」を中心として、東部エリア間の地域特産品目を販売する事で、地元の消費者に喜ばれ、更なる集客とJAの直売所としてのイメージアップを図ります。

また、農家の高齢化が進むなか、草刈作業等の労働力軽減と地域の自然豊かな景観を守る事にも繋がる法面のセンチピート吹付の推進及び被覆面積の拡大に取り組めます。

① 直売所間の連携による取扱高の増加

➤ 直売所における東部エリア間の農産物品目と数量の拡大

	令和3年度 (現状)	令和4年度 目標	令和5年度 目標	令和6年度 目標
取扱高の増加(万円)	122	300	400	500

② 草刈作業等の労働力軽減

➤ アグリ南すおう株式会社における法面のセンチピート吹付の推進・拡大

	令和3年度 (現状)	令和4年度 目標	令和5年度 目標	令和6年度 目標
法面被覆面積拡大(ha・累計)	5.36	6.5	8.0	10.0

周 南 統 括 本 部

方針

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」の実現に向け、合併メリットが最大限発揮できるよう、東部エリア内での連携、更にはJA山口県全体で具体策を講じ実践します。そのために、「組合員」「利用者」「JA」の連携、協力は必要不可欠となることから、組合員訪問活動を行い声を聴き応える活動を基本とし、支所運営委員会、直売所利用者懇談会等の声をJA事業に反映して、参加・参画をすすめ組織基盤強化にも積極的に取り組んで参ります。

① 販売拡大(直売所)

- 来店客増加
従来型からワンストップ型店舗への新店舗営業開始(精肉、鮮魚、総菜) 令和6年度予定
- 出荷者増加
販路拡大のために東部エリア物流の稼働を活発化させ、県域物流につなげる。作付誘導と実動出荷会員の増加および生産拡大(品揃えの充実)により、地域の生活に無くてはならない直売所となるよう取組む。

	令和3年度 (現状)	令和4年度 目標	令和5年度 目標	令和6年度 目標
直売所委託販売額(億円) (仕入品、購買品は含まず)	6.99	7.26	7.56	8

② 生産コスト低減

- 水稻肥料農薬予約注文
 - ①価格低減対策として、地域で取りまとめる大口持帰り制度(価格割引)の推進と未利用者へJA利用を進めシェア率を向上させる。(東部エリア管内で集約品目を定め、県全体の仕入価格の低減につなげる)
 - ②土壌分析の促進で地帯別傾向を把握し、適切な施肥提案を進める。その事で収量および食味向上へつなげる。(必要資材投入と過剰資材の節減)

	令和3年度 (現状)	令和4年度 目標	令和5年度 目標	令和6年度 目標
予約供給高(億円)	1.6 (シェア率 41.0%)	1.6 (シェア率 42.6%)	1.6 (シェア率 44.0%)	1.6 (シェア率 45.0%)
年間検体数 (検体)	160	170	180	200
(参考) 水稻作付面積(ha)	1,395	(予測) 1,345	(予測) 1,295	(予測) 1,245

③ 組織基盤強化

- 直売所を起点としたJA事業利用者の拡大
 - ①農業者の所得増大に寄与する総合ポイントサービスの新規加入者を増やす。
 - ②総合ポイントサービス加入者のJA事業利用拡大及び組合員化。
- 組合員の声を聴く活動
 - ①組合員訪問活動を通じて、声を聴き応える活動をする。
 - ②支所運営委員会、直売所利用者懇談会等を通じて、JA事業を伝え、参加から参画へ促進する。

	令和3年度 (現状)	令和4年度 目標	令和5年度 目標	令和6年度 目標
総合ポイントサービス年間新規加入者数(人)	1,150	1,200	1,200	1,200
総合ポイントサービス加入者の組合員比率(%)	43.2	44.0	44.5	45.0

防府とくち統括本部

方針

農業振興方針・農業振興戦略の実践を通じ消費者に安心・安全な農畜産物を持続的・安定的に供給できる体制を構築するとともに、SNS を活用した情報発信を行い「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」に向けて取り組みます。

次世代層を中心とした組合員組織の活性化を図り、人・地域・JA をつなぐために、SNS による状況発信の積極的に展開し、JA ファンづくりに努めます。また、食農教育の実践および地域コミュニティの絆を強化し、「地域の活性化」に繋がっていきます。

- ① 米作り LINE を活用し、生育状況、病害虫発生状況等の情報を発信し、収穫量、品質の向上を行う。

	令和3年度 (現状)	令和4年度 目標	令和5年度 目標	令和6年度 目標
米作り LINE 登録者の増加(名)	326	400	500	600

- ② LINE・インスタグラムによる情報発信により、組合員組織及び地域の活性化を図る。

	令和3年度 (現状)	令和4年度 目標	令和5年度 目標	令和6年度 目標
組合員組織 SNS 登録者数(名) (現在 青壮年部 24名、女性部 10名、ちやぐりん 112名)	146	200	220	250

山 口 統 括 本 部

方 針

農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化の実現に向け、組合員・利用者とのつながりを拡大するとともに、訪問活動を主軸とした情報提供と地域ニーズを JA 事業に反映した組織基盤強化に積極的に取り組んで参ります。
事業実施体制整備による購買店舗の再編、金融店舗機能等の見直し、第 2 次中期経営 3 カ年計画を確実に達成するよう役職員が一丸となって取り組んで参ります。

① 酒米需要に即した実需者との連携強化と生産拡大による農業者所得の増大に取り組めます。

➤ 需要に即した加工用米の生産拡大

	令和3年度 (現状)	令和4年度 目標	令和5年度 目標	令和6年度 目標
契約取引量の拡大 (ha)	703	730	800	820

② OCR/RPA 化により営農経済業務の効率化を図り、出向く営農指導体制の強化と相談機能の充実に取り組めます。

➤ 出荷契約・資材共同注文書等の電算集計による効率化

	令和3年度 (現状)	令和4年度 目標	令和5年度 目標	令和6年度 目標
営農経済業務の OCR/RPA 化 (項目)	出荷契約 3 各種注文 10	出荷契約 3 各種注文 11	出荷契約 3 各種注文 11	出荷契約 3 各種注文 11

宇部統括本部

方針

JAが強みとする「親しみやすさ」と「信頼感」で人と人をつなぎ、准組合員を地域農業を支える『農業振興の応援団』と位置づけて、『農業振興の主人公』である正組合員の所得増大に向けて取り組みます。

また、組合員・地域住民の多様な願いの実現ならびに、持続可能な収益性・将来にわたる健全経営の確立に向け、「経営改革実践プラン」「事業実施体制整備実行計画」を着実に実践します。

① 農畜産物の生産拡大・品質向上による農業者の所得増大

- 農業者の所得増大に向けて、作目別の振興計画に基づいた取り組みを実践し、農業生産の拡大を図ります。
- 農産物直売所（FM）について、テレビCMや販売促進活動（イベント）等を通じて、店舗の認知度向上に努め、生産者向けの栽培講習会を定期開催し、品目提案から品揃えの充実を図り、生産者・消費者に対して魅力ある店舗づくりに取り組みます。

	令和3年度 （現状）	令和4年度 目標	令和5年度 目標	令和6年度 目標
受託販売品取扱高（千円）	1,859,240	2,286,883	2,340,343	2,346,894
買取販売品取扱高（千円）	222,459	237,841	259,981	259,981

② 人・地域・JAを“つなぐ”活動の実施による「地域活性化」ならびに「農業振興の応援団」づくりへの取り組み

- 組合員や地域住民が安心して暮らせる、元気で魅力ある地域づくりの実現に向け「元気な地域づくり活動」（教育文化活動、くらしの活動）を実践し、地域の活性化、JAファンの増大に取り組みます。
- 准組合員や地域住民の「食」と「農」への理解を深めるため、農産物直売所「新鮮館」や支所等で各種イベント、農業体験等の食農教育、地域農業や生産者の魅力を紹介する活動を行い、『農業振興の応援団』づくりに取り組みます。

	令和3年度 （現状）	令和4年度 目標	令和5年度 目標	令和6年度 目標
イベント回数（回）	13	19	20	21
イベント参加者数（人）	1,205	1,305	1,315	1,325

③ 持続性・継続性のある持続可能な健全経営への取り組み

- 「JA山口県事業実施体制整備指針」に基づき、『宇部統括本部事業実施体制整備実行計画』（「事業本部制再構築」「事業・地域拠点整備」「出向く体制整備」）を着実に実践し、経営基盤強化に取り組みます。
- 将来にわたる健全経営の確保に向けて、労働生産性の目標を1,000万円として取り組みます。

	令和3年度 （現状）	令和4年度 目標	令和5年度 目標	令和6年度 目標
事業利益（千円）	6,135	26,774	113,770	53,184

下 関 統 括 本 部

方 針

JA 山口県経営理念と、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の基本目標のもと、組合員・地域とのつながりを大切にするとともに、更なる自己改革に取り組み、時代の変化に対応できる持続可能な組織とすべく中期経営 3 カ年計画を下関統括職員全員で取り組んでまいります。

- ① 米の多様な販売に応じた集荷・清算方法の構築を行うとともに、集荷の向上を図るために生産者買取米の拡大を行います。

	令和3年度 (現状)	令和4年度 目標	令和5年度 目標	令和6年度 目標
生産者買取米(俵)	7,067	10,000	15,000	20,000

- ② 出荷者の増加と多様な担い手の育成のため、ファーマーズマーケット会員数の募集対策、集落営農法人若手雇用者間の交流促進対策を積極的に行います。

	令和3年度 (現状)	令和4年度 目標	令和5年度 目標	令和6年度 目標
出荷会員数(人)	676	690	700	710

美 祿 統 括 本 部

方 針

ファーマーズマーケットを核とした地産地消の取り組みとして、年間を通して豊富な品揃えと安全・安心な農産物の出荷体制を確立するために、栽培講習会や生産履歴記帳指導を含めた営農指導を実施します。また SNS などのデジタルツールを活用し、売れ筋商品等の情報発信を行い、客数の増加や売り上げ向上につながるように取り組んでいきます。農業経営サポートの強化として、担い手農家や農業法人を中心とした定期訪問活動を通じ、情報提供と金融相談機能に対応し、資金ニーズの把握と資金提供に取り組めます。

- ① ファーマーズマーケットの品揃えを充実させるために、売れ筋商品等の情報提供や栽培方法などの講習会を開催し、出荷者の生産拡大を図る。(SNS 等を活用した情報発信を構築する。)

	令和3年度 (現状)	令和4年度 目標	令和5年度 目標	令和6年度 目標
研修会の開催(回/情報発信)	2	4	4(6)	4(12)

- ② 営農部門と連携した法人・認定農業者・新規就農者への訪問活動により相談及び農業資金の情報提供を行う。

	令和3年度 (現状)	令和4年度 目標	令和5年度 目標	令和6年度 目標
農業経営サポート(回/情報発信)	4	4	6	6

長 門 統 括 本 部

方 針

事業実施体制整備による購買店舗の再編、金融店舗機能の見直しで、将来にわたる健全経営を確保し、出向く体制の構築や事業間連携の強化により、情報提供等のサービス向上に努めます。また、地域や担い手等、人とのつながりを深めることで利用者・組合員の満足度向上を目指し、農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化を図ります。

① 出向く体制の構築と強化

- 持続可能な農業の実現に向けコスト削減対策等の情報提供を積極的に行い、生産拡大や販売強化による農業所得増大を図ります。

	令和3年度 (現状)	令和4年度 目標	令和5年度 目標	令和6年度 目標
担い手等への出向く活動(戸)	600	840	840	840

JAの部内間連携で情報共有を図り、TACと東部、西部営農センターを中心に地域担い手への訪問活動を強化し、積極的な情報提供を行う。

○現状／担い手 50 戸×訪問回数年 12 回、R4~R6年度／担い手 70 戸×訪問回数年 12 回

【重点内容】

- ・出向く人員を増員することで、相談・支援・情報提供機能を強化し地域農業の安定を図ります。
- ・出向く営農指導を強化することで、担い手等の信頼関係の構築、営農の改善・所得の向上を図ります。
- ・営農指導員を増員することで、恒常的に出向く活動を展開し、提案・指導により農業生産の拡大を図ります。

② 地域行事等への積極的な参加

- 地域の皆さんと親しみと信頼の確立を図り、JAが地域活性化の一翼を担います。

	令和3年度 (現状)	令和4年度 目標	令和5年度 目標	令和6年度 目標
各地区開催行事への参加(回)	0	8	8	16

各地区(支所単位)開催の「ふるさとまつり」「地区開催行事」等への参加で、地域とのふれあいを図る中で、JAの活動をしっかりPRし利用者の拡大を目指します。

OR4, R5年度／8地区×1回、R6年度／8地区×2回

【重点内容】

- ・JAファンの拡大を図るため、地域密着の活動を強化します。
- ・部門間連携による情報提供を行い、組合員との関係深化を図ります。

萩 統 括 本 部

方 針

少子高齢化や都市部への人口流出など、経営環境は引き続き厳しい現状であり、中でも農家組合員の高齢化に伴う事業継承は課題となっています。

「農業を守る・伝える」、「地域を守る」ことを踏まえ、【農業者所得の増大】、【農業生産の拡大】を実現するため、JA山口県経営理念のとおり、ふるさとの農業とくらしを支え続けることを取組方針とし、経営基盤の強化と生産指導・販売が一体となった「農業振興戦略」に取り組みます。

① ファーマーズマーケット「ふれあいらんど萩」での直売による農業者所得の増大に取り組みます。

➤ 出荷会員数の拡大と品質向上に取り組みます。

	令和3年度 (現状)	令和4年度 目標	令和5年度 目標	令和6年度 目標
出荷会員数(人)	340	380	390	400
利用者懇談会(回)	0	1	1	1
会員研修会(回)	0	3	3	3
料理教室(回)	2	6	12	12

(出荷会員数は会員申込者の内、3年以内に出荷実績のある方を会員数としてカウントしています)

② 販売事業において流通の変化や需要の多角化に対応した生産・販売の強化を図り「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」に取り組みます。

➤ 営農指導と販売が一体となった運営を行うことにより販売単価向上に取り組みます。

	令和3年度 (現状)	令和4年度 目標	令和5年度 目標	令和6年度 目標
受託販売品取扱高(千円)	2,397,989	3,036,101	3,045,293	3,031,571
買取販売品取扱高(千円)	360,834	419,875	422,959	422,959

